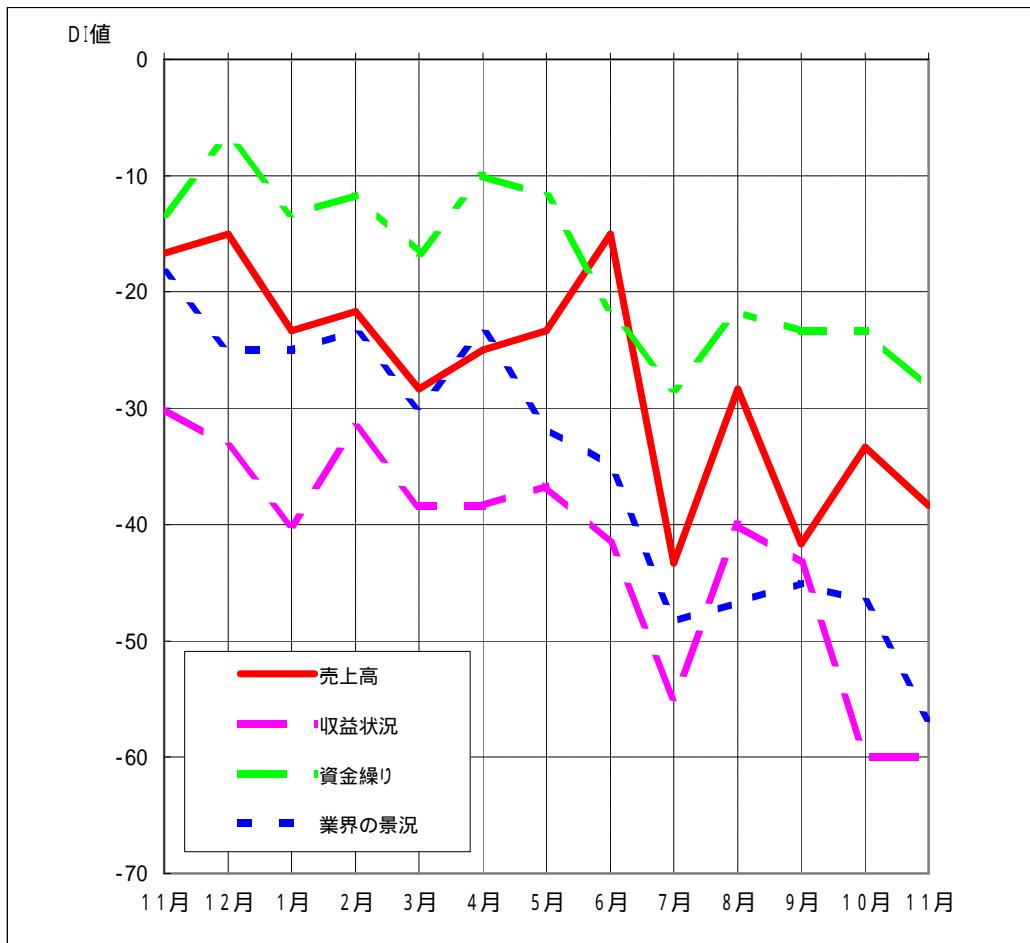


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値
平成18年11月～平成19年11月

単位: ポイント



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	-16.7	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0	-23.3	-15.0	-43.3	-28.3	-41.7	-33.3	-38.3
収益状況	-30.0	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3	-36.7	-41.7	-55.0	-40.0	-43.3	-60.0	-60.0
資金繰り	-13.3	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0	-11.7	-21.7	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-28.3
業界の景況	-18.3	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3	-31.7	-35.0	-48.3	-46.7	-45.0	-46.7	-56.7

依然として高値が続いている原油価格及び原材料価格等により、11月のDI値は前年同月より上記各項目で悪化した。「売上高」DIは前年同月より21.6ポイントの悪化でマイナス30%台に推移した。「収益状況」DIにおいては、30.0ポイントの悪化でマイナス60.0%に推移、「資金繰り」DIについては、15.0ポイントの悪化で20%台に推移した。「業界の景況」DIは、38.4ポイントの悪化でマイナス56.7%へと推移した。

ここ3カ月の景況は低調かつ不安定に推移しており、先月急な落ち込みとなった「収益状況」にあわせ「業界の景況」でも落ち込みが激しくなっている。

組合の特記事項から、製造業では「鉄鋼・金属」「一般機器」の一部で受注増とする報告が見られたが、他の多くの製造業では、原油及び原材料価格高騰等による経費負担増を価格転嫁できず厳しいとする報告が多い。

非製造業においても、製造業同様、原油価格等の高値推移についての報告が多い。中でも運輸業においては、燃料費上昇が経営をより厳しいものとしていることが窺える。

新潟県内の中小企業は、コスト上昇分を価格に転嫁できず、収益を圧迫しており、依然として厳しい状況となっている。